

様式 4

<p style="text-align: center;"><b>令和 3 年度第 3 回</b></p> <p style="text-align: center;"><b>富士見市安全安心なまちづくり防犯推進市民懇談会</b></p> <p style="text-align: center;"><b>議事録</b></p>						
<b>日 時</b>	令和 4 年 3 月 1 6 日 (水)		開会	午後	7 時 0 0 分	
			閉会	午後	8 時 4 0 分	
<b>場 所</b>	富士見市役所 2 階 市長公室					
<b>出席者</b>	参加者	清水	関本	高野	高橋	富田
		○	○	○	○	○
		羽石	藤井	吉原		
		×	×	○		
事務局	【協働推進課】佐々木課長・長根副課長・田中主任					
<b>公開・非公開</b>	公開 (傍聴者なし)					
<b>懇談事項</b>	(1) 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の中間見直しについて					
<b>議 事 内 容</b>						
<p>富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の中間見直しについて事務局より見直し版計画案を提示し、後期期間における推進施策やパブリックコメントの結果説明を行い、意見を求めた。参加者からの意見については以下のとおり。</p> <p>(参加者) 特殊詐欺の対策については金融機関との協力体制を構築し、ATM 等に振り込みをさせない取り組みが必要である。また、自主防犯パトロールはパトロールと併せて清掃活動を実施しているが、犯罪が起こりにくい環境づくりにも効果があると考え。実施者の高齢化が課題であり、若い世代にも参加してもらいたい。</p> <p>(参加者) 水谷地域は宅地化が進んでおり、新たな居住者と顔の見えない関係が進んでいるような感じがあり、不安である。よろず防犯教室は町会とも連携し、率先して実施してほしい。</p> <p>(参加者) この計画は市民に対してどのように周知するのか。</p>						

- (事務局) 市ホームページで公開するとともに各公民館、交流センター等に配布する。また、要望に応じて団体に配布するなど、柔軟に対応したい。
- (参加者) みずほ台駅の西口は22時を過ぎると店舗の閉店により照明が消え、街路灯のみとなる。防犯カメラは犯罪発生後の捜査には有効であるが、抑止としては効果に疑問がある。駅前に交番やパトロールステーションがあると効果的だと考える。
- (参加者) 金融機関の業態別で被害傾向を調査し、防犯連絡会のようなところに意見をあげることも振り込め詐欺対策には効果的と考える。
- (参加者) 新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な行事が中止になっている。学校でも保護者の顔合わせの場としての行事がほとんどできない中、コミュニケーションがとれない状況があり、防犯的な観点からも不安である。また、これまである程度のルールをもって集まっていた子どもたちが野ざらしになっているように感じる。
- (参加者) 防犯パトロールも新型コロナウイルス感染症の影響により縮小や中止を余儀なくされている。避難訓練や運動会もできない状況が続くとやり方を忘れてしまう。なんとか元に戻せるようにしたい。
- (参加者) 子ども110番の家について、三角旗の設置依頼を行っている。学習塾などは理解を得やすい傾向があるように感じるが、子どもと全く関係のない事業者などは理解を得てもらえるかが不安。
- (参加者) わんわんパトロールについて、飼い主に「道を歩いているのは犬が好きな人ばかりではない」ということも意識させ、しつけをしっかりと行うことが必要であると考えます。

以上